

第60回全国学校保健研究大会 参加報告

上越市立春日中学校 吉越 みどり

- 1 期日：平成 22 年 11 月 18・19 日
- 2 会場：群馬県前橋市 群馬県総合スポーツセンター
「ALSOK ぐんまアリーナ」
「ぐんま武道館」他
- 3 内容
 - (1) 記念講演 演題 「これからの健康教育の展望」
講師 東京大学名誉教授
社会福祉法人恩賜財団母子愛育会
日本子ども家庭総合研究所 副所長 衛藤 隆 様



「健康教育は、ヘルスプロモーションと関連付けて、家庭や地域との連携を図りながら、生涯を通じて行っていくもの。学校保健 = 思春期保健であり、対象となる子どもたちの実態の変化に合わせて、具体的な指導の内容や場面を工夫していかなければならない。」

(2) 課題別研究協議会

課題	研究協議題
第 1 課題 学校経営と組織活動	心豊かにたくましく生きる力をはぐくむための特色ある学校経営と組織活動の進め方
第 2 課題 保健学習	心身の健康を保持増進するための実践力の育成を目指した保健学習の進め方
第 3 課題 保健指導	日常生活における具体的な健康課題について考え実践し、解決できるようにするための保健指導の進め方
第 4 課題 心の健康	豊かな人間性と社会性をはぐくみ、心の健康の保持増進を目指す教育の進め方
第 5 課題 性に関する教育・エイズ教育	生涯を通じて健康な生活を営むための資質や能力を育てる性に関する教育・エイズ教育の進め方
第 6 課題 保健管理	生涯を通じて健康の保持増進を図るための保健管理の進め方
第 7 課題 歯・口の健康づくり	生涯にわたる健康管理の基盤となる歯・口の健康づくりの進め方
第 8 課題 学校環境衛生	快適な学校環境づくりを目指す学校環境衛生活動の進め方
第 9 課題 安全教育	生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うための安全教育の進め方
第 10 課題 喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育	安全で豊かな社会と健康を守り育てるための喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方

<参加分科会報告（第5課題 性に関する教育・エイズ教育）>

講師 京都大学大学院准教授 木原 雅子 様

「学校における「性に関する教育」の進め方

- 「性教育」から「生きる教育」、「予防教育」から「希望教育」へ -

WY S H教育の基本戦略

第1段階<自尊心> 自分の長所を発見し、自信をもつこと

第2段階<安心できる人間関係> 心穏やかな人間関係をもつこと

第3段階<危険を伝える> 現代社会の危険が、他人事ではない

第4段階<気づきの教育> 自分で考え友人と討議し、自分で気づき、自分で決める

授業構成例（2コマの場合）

イントロ（リラックス）

主要講義（パワーポイント、ビデオ使用 狭義の性教育）

気分転換ゲーム

グループワーク（予防方法、将来の夢）

「生きること」を考える映像を流す

感想・質問



指導助言者（コーディネーター）

北海道教育庁 指導主事 渡邊祐美子 様

研究発表

学校、家庭、地域社会が連携した性に関する教育の進め方

- 自ら適切な意思決定や行動選択ができる生徒の育成をめざして -

群馬県立吾妻高等学校

教諭 箱田 邦夫 様

養護教諭 黒岩 治恵 様

・PTAや地域の関係機関を連携した体験学習や全校で取り組む「エイズ予防キャンペーン」の取組について

今、子どもたちに伝えたいこと

- 子どもの発達段階に応じたいのちの学習の取り組み

山梨県笛吹市立境川小学校

養護教諭 古屋 恵美 様

・児童の発達段階を踏まえ家庭などの連携を図りながら「生きる」「男女の尊重」「人権」について理解させる取組について

中学校における性に関する教育の取組について

- 西脇中学校におけるWY S H教育の実践から -

和歌山県和歌山市立西脇中学校

養護教諭 中西久視子 様

・人間関係の構築やコミュニケーション能力の育成を目指して、WY S H教育を取り入れた「授業づくり」の取組の様子について

* 「知識やスキルの提供とともに大人の本気を伝えれば、必ず子どもたちの行動変容がある」とお話し、とても勇気付けられ、まず、自分のできることから始めていこうという意欲を持ちました。そこから、学校全体、家庭や地域へと大きなうねりを作ることができるよう、自分自身の指導力を高めたいと感じました。